

飯舘 百景

農地の夏だより

連なる緑の水田を、高原の風が、悠々と渡っていきます。飯舘村に、夏本番が到来しました。村内で、今年作付けされた水田の面積は、約138.2ha。昨年の約3倍となりました。震災前の面積と比較すると約20%で、まだまだではありませんが、一歩一歩、前進していることが感じられる風景です。緑の稲田の美しさに、思わず見とれます。村

内の家々の自家菜園も、年を追うごとに充実を取り戻し、立派な夏野菜が収穫されている様子です。

また、今年は新たに、村内でナタネの収穫も行われました。この春、鮮やかな黄色で各地区を彩った菜の花畑にコンバインが入り、大きく育ったナタネを刈り取っていきましました。

収穫したナタネは、飯樋地区

栽培面積が大きく広がった須萱地区の水田。食用のうるち米ともち米に加えて、WCS（ホールクロップサイレージ／稲発酵粗飼料）用の稲も栽培しています。

にあるJAふくしま未来の施設に集められ、大型乾燥機で乾燥。南相馬市にある搾油施設で油をしぼり、菜種油として商品化を進める予定です。

避難指示解除から3年。多くの人のためまぬ努力が、この風景を生み出しています。今年は秋景色も、二段と美しく広がることでしょう。



満開のジャガイモの花（小宮）



大きくみずみずしいキャベツの畑（伊丹沢）



農地の集約も進められています（上飯樋）



ナタネの収穫（前田・八和木）